

From Author

私は、歯科治療において、診査・診断、治療計画の立案といった“診断力”とそれを実行に移す“技術力”的両輪がバランスよく機能することが重要であると考えている。

“技術力”に関しては、多くの経験を積むことによって、一定のラーニングカーブを辿ることは可能だが、こと“診断力”に関しては、成書も少なく、単に経験を積むだけでは向上は望めない。

患者の個体差、そして要望は十人十色であり、100人の患者がいれば、100通りの治療計画があるといつても過言ではない、まさにオーダーメード治療である。そのため、歯科医師は、局所的な問題解決能力だけではなく、大局的に患者を診て、戦略を立てる能力=「包括的治療戦略 CTS(Comprehensive Treatment Strategies)」が求められている。

本書では、このCTSを軸として、実際の診査・診断、治療計画の立案に必要なステップ、そしてその対処法について詳細に記した。ぜひ、診断能力、そして問題解決能力を向上させる一助として本書を活用していただければ幸いである。



土屋 賢司 Tsuchiya Kenji

1958年、神奈川県生まれ。1984年、日本大学歯学部卒業。1987年、USC卒後研修。1989年、東京都千代田区にて土屋歯科クリニック開業。2003年、同区内に土屋歯科クリニック & works を移転・開設し、現在に至る。審美修復治療に限らず、インダーディシプリンアーリーアプローチなど、総合的に質の高い歯科医療を追求し続けている。学会での演者、セミナー講師などを多数務め、後進の育成にも積極的に取り組む。論文執筆も精力的に手がけており、本書が初めての単著となる。共著に「コンベンショナルレストレーション」、「ボンディッドレストレーション」(いずれも医歯薬出版)など。所属団体・学会:日本顎咬合学会(指導医)、日本口腔インプラント学会、日本歯科審美学会、日本補綴歯科学会、日本歯周病学会、Nobel Biocare Replace Select(インプラント公認インストラクター)、OJ常任理事、東京SJCD顧問、SJCDインターナショナル常任理事

医歯薬出版 ご注文承り書

包括的治療戦略 修復治療成功のために	() 冊	() () 冊
() () 冊	() () 冊	() () 冊
() () 冊	() () 冊	() () 冊

ご指定納入店 [] (納入店ご指定の場合) 直送希望 (一回の発送につき手数料 450円が別途かかります)

●お名前

●ご住所 (〒)

●TEL

治療の成否を握る診査・診断の真髓がいま明らかに!
歯冠修復治療のトップランナーによる待望の成書

包括的治療戦略

修復治療成功のために

Comprehensive Treatment Strategies
for restorative therapy

土屋 賢司 著

A4判／224頁／オールカラー
定価（本体16,000円+税）
ISBN978-4-263-46413-7

これまでの書籍に満足できなかつた方へ――

本書は著者が治療のイメージを高めるのに役立つ症例集ではありません。テクニックの上達を目指した技術解説書でもありません。修復治療を成功させるための優れた目と手、それと同等、いやそれ以上に必要とされるもの——治療計画を立てるためにあたっての「考え方」を身につけるため、これまでにない成書の誕生です。

「診査・診断」の重要性を理解されている方へ――

歯冠修復治療における診査・診断基準は、国内外の臨床家により提唱され、広く臨床に応用されています。しかし、その基準を知ることはあくまで修復治療成功のための必要条件に過ぎず、基準を逸脱していることがわかったときに、どのような治療戦略を描くかにこそ、臨床医の真の実力が問われるといつても過言ではありません。本書では著者の臨床の積み重ねから導き出された、「中切歯のインサイザルエッジポジション」を基準とした包括的治療戦略が、初めて明らかにされます。これを学ぶことで、千差万別の主訴に柔軟に対応するための基本が理解できます。

これから修復治療を学ぶ方へ――

「患者さんが心の底から求めているのは、治療のlongevityである」。この信念のもと、長期経過症例にこだわり続けてきた著者が、満を持して供覧する症例群。予知性・永続性の高い修復治療をより多くの患者さんに——これから修復治療を学ぶ方に向けて、著者が届けたいメッセージが、すべてのページに込められています。

いま明らかにされる 中切歯のインサイザルエッジポジションを基準とした修復治療の指針

インプラント、矯正治療との連携などさまざまな治療オプションを 自在に駆使した文字通りの「包括的治療戦略」を誌面に展開



著者が提唱する
新たな審美修復治療の指針を、
詳細なシェーマとともに解説します。

一つとして同じものがないケースをどのように読み解くか

臨床の幹となる「考え方」を詳述



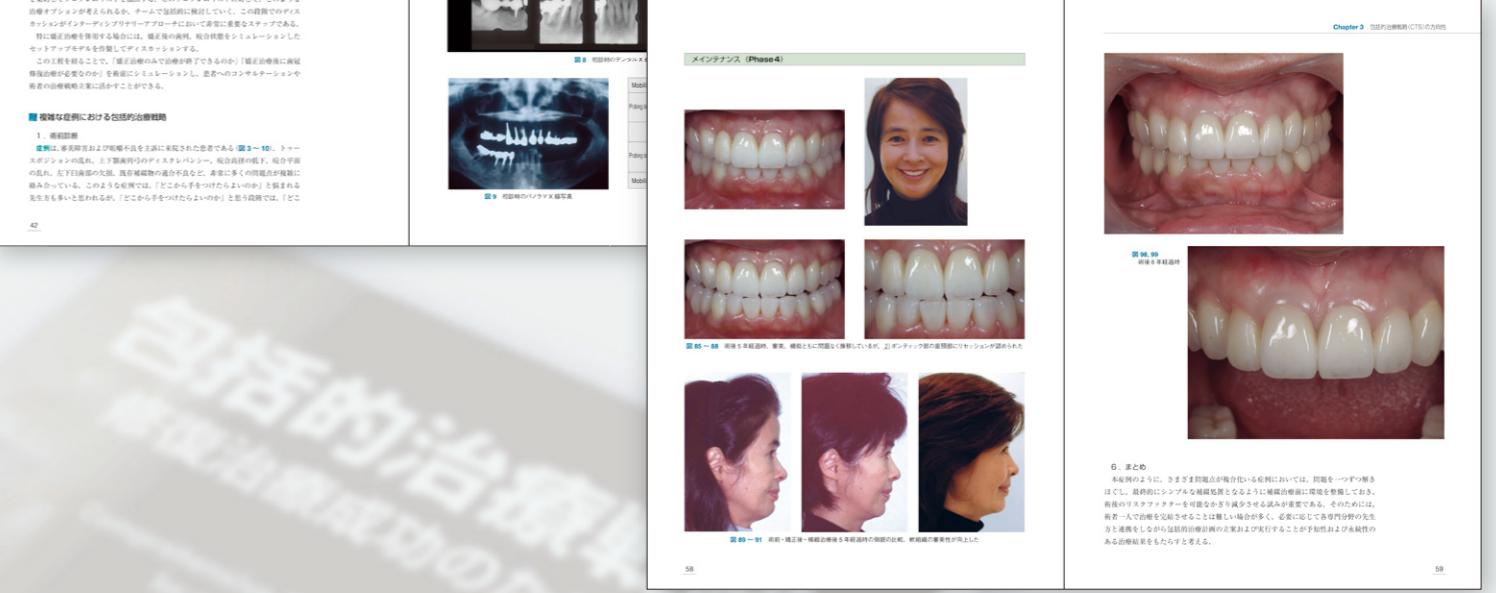
治療戦略立案にあたっての

著者の「考え方」を辿ることができるよう、

診査・診断について、多数の臨床資料を提示しながら、
重点的に記述しています。



歯科衛生士・歯科技工士との
チームワークはもちろのこと、矯正医などとの
効果的な連携を実践する著者の臨床から、
有機的なインターディシプリンアーラプローチを
学ぶことができます。



CONTENTS

Prologue

Opening Graph 1本のクラウンから学ぶ包括的治療戦略の重要性

Chapter 1 包括的治療戦略(CTS)の必要性

Section 1. なぜ、包括的治療戦略が必要なのか

Section 2. 包括的治療戦略(CTS)は補綴処置を単純化させる

Chapter 2 包括的治療戦略(CTS)のための診査・診断、治療計画の立案

Section 1. 診査・診断のポイント

Section 2. 中切歯のインサイザルエッジポジションがすべての基準である

Section 3. 包括的治療計画の立案とその実際

Chapter 3 包括的治療戦略(CTS)の方向性

Section 1. 審美修復治療における治療戦略

Section 2. インプラント治療における治療戦略

Section 3. 複雑な治療における包括的治療戦略

(インターディシプリンアーラプローチ)

Chapter 4 Case Gallery

Epilogue 7Cコンセプト